

こんなことをしています！こんなところでがんばっています！  
地域おこし協力隊通信

みかんクッキングin東京



長島の柑橘類を紹介する渋谷さん(左端から3人目)

地域おこし協力隊の渋谷日和さんが、4月13日に東京都文京区千駄木で「みかんクッキングin東京」を開催しました。これは、かんきつソムリエの資格を持つ「みかんちゃん」こと渋谷さんが、温州ミカン発祥の地で、日本マンダリンセンターがある長島町のミカンの魅力を味わい、楽しみながら体感してほしいと企画したイベントです。過去には、町内やさつま町でも実施。今回、渋谷さんの地元である東京での初開催となりました。

イベントには、未就学児から大人まで18人が参加し大盛況。町産のかんきつ数種類を食べ比べながら、ミカンのワイズや授業、サワーポメロのむき方や皮のデコレーションを工夫するピールアートにも挑戦しました。

東京の子どもたちにとって、かんきつ畑の様子は新鮮に映り、収穫直前のたわわに実った不知火のビニールハウスの映像を流すと歓声が上がりました。参加者からは、かんきつを食べながら「かんきつはこんなに甘いのか。とっても美味しい」と感動の声や、「子どもにも長島町の自然や一次産業を体験させたい」との意見がありました。

東京出身で長島町へ移住をした渋谷さんと直接交流ができたことで、参加者はかんきつだけではなく、長島町により一層の興

味を持つきっかけとなりました。

渋谷さんは「まず、自分が大好きなかんきつの魅力を、長島から遠く離れた場所でも共有できてうれしかった。『酸っぱいから』『手でむけないから』との理由で食べる機会が減ってしまっているかんきつも、みんなで一緒に食べたり、ピールアートとして楽しんだりすることで、子どもたちが自ら進んで食べてくれるという学びがあった。今後もイベントを開催し、マンダリンセンターから全国にミカン好きの子どもを増やしていきたい」と話しました。



参加者と作ったピールアート